

津波から身を守るには

津波避難ビルとは

津波の到達までに、安全な場所に避難することが困難な地域からの逃げ遅れを解消するための緊急避難施設が「津波避難ビル」です。

津波避難ビルは、津波浸水予想地域（津波が陸に遡上した場合に浸水する範囲）の中にある建物のうち、原則として、鉄筋コンクリート造または鉄骨鉄筋コンクリート造で耐震性のある建物が対象となります。また、公共施設だけでなく、所有者の協力のもと民間施設もその対象として、市町村が選定しています。ビルの階数等は、各地域の予想浸水高により異なります。

津波ハザードマップとは

津波による被害が想定される区域とその程度を地図に示し、必要に応じて避難場所・避難経路等の防災関連情報を加えたものを「津波ハザードマップ」といいます。災害の危険度等の情報を提供することが被害の軽減につながります。

がため、市町村が整備を進めています。ハザードマップは、迅速かつ確実な避難だけでなく、防災意識の向上にも役立ちます。

地震を感じたらただちに避難

津波から身を守るためには一刻の猶予もありません。津波が来るのを見てから避難しては間に合いません。津波警報・津波注意報が発令される前に津波が来襲する場合もあります。地震を感じたら、ただちに海岸から離れ、高台や津波避難ビルなど安全な場所に避難してください。また、揺れを感じなくても、警報、注意報が発令されたときは、ただちに避難してください。

より高い場所へ避難

避難するときは、海岸から「より高く」ではなく、「より高い」場所（高台など）を指しましょう。近くに高台がない場合は、できるだけ高く頑丈な建物の上の階に避難してください。

警報や注意報が解除されるまで海辺に近づかない

津波は繰り返し襲ってきます。警報や注意報が解除されるまで避難を続けましょう。自分の判断だけで動かないようにしてください。

正しい情報入手する

ラジオやテレビ、携帯電話、インターネット、広報車などを通じて、正しい情報入手するよう心がけ、冷静に行動してください。

より遠くではなく、より高く！

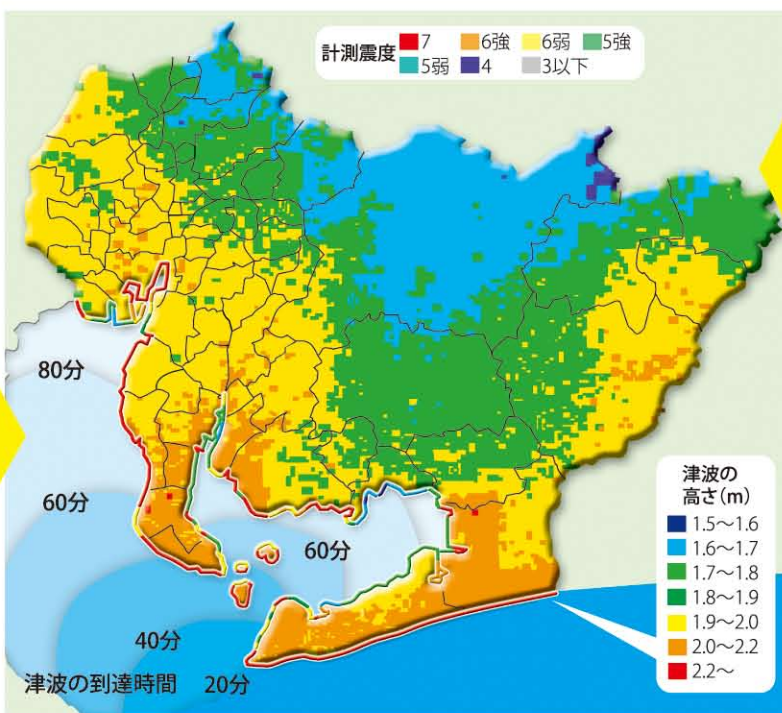


津波危険地域とは

東海地震及び東南海・南海地震の津波被害予測等を基に、海岸線を有する市町村や、津波が河川を遡る可能性のある市町村が、津波により人や住家等に危険が及ぶと想定した地域のことです。

津波危険地域のある県内市町村

- 名古屋市 ●半田市 ●豊川市 ●碧南市
- 刈谷市 ●西尾市 ●蒲郡市 ●常滑市
- 知多市 ●高浜市 ●田原市 ●飛島村
- 東浦町 ●南知多町 ●美浜町 ●武豊町



東海・東南海地震連動時想定される愛知県の震度 津波の高さと到達時間



地震に強い愛知県をめざして

第2次あいち地震対策アクションプラン(平成19年度～平成26年度)

愛知県では地震による人的、経済的被害の半減をめざす行動計画を進めています。その中で、津波避難意識向上のために、次の項目に取り組んでいます。

①市町村津波避難計画の策定の促進

市町村の津波避難のための行動指針である「市町村津波避難計画策定の手引き」により、市町村に津波避難計画の策定を働きかけ、海岸線等（津波の遡上の可能性のある河川流域を含む）を有する20市町村で津波避難計画を策定します。

②市町村津波ハザードマップの作成の促進

地域住民の津波避難意識の向上のため、市町村に津波ハザードマップの作成を働きかけ、津波による浸水被害が予想される16市町村で津波ハザードマップを作成します。

③市町村津波避難訓練の実施の促進

地域住民の津波避難意識の向上や避難の実効性の確保のため、市町村に津波避難訓練の実施を働きかけ、海岸線等（津波の遡上の可能性のある河川流域を含む）を有する20市町村において毎年度実施します。

④津波警報の確実な伝達

関係市町村に対する津波警報伝達訓練を行うほか、津波警報伝達システムの導入に向けての検討を行います。



東日本大震災を受けて、愛知県では次の事業を進めていきます

東海地震、東南海地震及び南海地震の連動発生を想定した被害予測調査を行います。

本県では東海・東南海の二連動を想定した第2次あいち地震対策アクションプランに基づき、地震防災対策を進めています。しかし、東日本大震災では、従来別々の地震とされていた複数の地震が連動発生し、想定を大きく上回る被害が発生しました。このことを踏まえ、本県の災害対応力の検証を行うとともに、新たに地震防災対策の前提となる東海地震、東南海地震及び南海地震の三連動発生を想定した被害予測調査を行います。

「愛知県防災学習システム」の津波に関する情報を強化します。

本県では、県民の皆さまの防災意識の向上を図るため「愛知県防災学習システム」を平成20年度からインターネット上で公開し、防災に関する情報提供を行っています。

東日本大震災では、想定を超えた津波により非常に多くの方が亡くなっていますが、その原因の一つとして、津波に関する認識不足も指摘されています。

本県においても海溝型の大地震が発生した場合、沿岸部を中心に津波による被害の発生が予想されています。こうしたことから、防災学習システムにおいて津波の到達時間や津波避難場所の表示、津波などを啓発する映像の追加など、津波に関する情報を強化します。

